平成 29 年度　第２回　学校評価（職員用）

鹿児島聾学校

基準　４＝十分達成（80%以上達成）３＝おおむね達成（60%以上達成）２＝やや不十分（40%以上達成）１＝不十分（40%未満）
評価　A＝3.5 以上　B＝3.5~3.0 未満　C＝2.5~3.0 未満　D＝2.5 未満
回答数　幼稚部 14　　小学部 14　　中学部 11　　高等部 23　　寄宿舎 24　　全体 86

		評　価　項　目	自学部等による評価 平均	自学部等による評価 評価	他学部等による評価 平均	他学部等による評価 評価	全体評価 平均	全体評価 評価
幼稚部	1	保護者に教育相談や連絡を通して，十分な情報提供を行ったか。	3.42	B	3.36	B	3.37	B
	2	子供たちが伝えたいことを豊かな言葉で表現できるように支援しているか。	3.71	A	3.35	B	3.41	B
	3	発達段階を考慮し，思考を促す保育の実践ができたか。	3.50	A	3.32	B	3.35	B
	4	日常生活の中で聴力活用を促したか。	3.43	B	3.39	B	3.40	B
小学部	1	児童自身の安全面への意識を高める取組をしたか。	3.43	B	.34	B	3.35	B
	2	聴覚口話法を基盤とし，あらゆるコミュニケーション手段で，児童の言語力を育成することができたか。	3.50	A	3.28	B	3.32	B
	3	ＩＣＴ機器を活用し，分かる授業作りに取り組めたか。	3.64	A	3.36	B	3.41	B
	4	個別の教育支援計画等を活用し，児童の課題の改善策を示すことができたか。	3.43	B	3.29	B	3.32	B
	5	教育実践をホームページ，週報等で分かりやすく発信したか。	3.64	A	3.21	B	3.29	B
中学部	1	社会や集団の決まりを守り，落ち着いた学校生活を送らせることができたか。（一事徹底の推進（挨拶・返事・言葉遣い，服装・身なり，生活態度等），歯磨き指導の徹底，補聴器管理の状況確認）	3.27	B	3.16	B	3.18	B
	2	学力向上を目指し，指導法の工夫・改善に努めることができたか。（授業の実践，ＩＣＴの活用，朝自習・朝読書の充実，個に応じた指導の実践，学習環境の整備《掲示板等の工夫》）	3.55	A	3.13	B	3.19	B
	3	将来の夢の実現に向けて，見通しをもてる指導ができたか。（進路に関する情報提供《資料等の掲示》，学活等での進路指導の実践，職場体験・校内実習の次年度へ向けた取組）	3.18	B	3.04	B	3.06	B
	4	家庭や各学部等と密に連携を図ることができたか。（ＨＰや学級通信等による情報発信，連絡帳や学部・学級ＰＴＡ等による情報共有，家庭や寄宿舎との連携・協力）	3.90	A	3.19	B	3.28	B
高等部	1	安全面に配慮した指導ができたか。（生徒の身体や健康を把握し職員間で共通理解できたか。授業や課外活動において，施設や工具類の安全な使用が徹底できたか。校外での学習の安全面に留意できたか。）	3.70	A	3.39	B	3.48	B
	2	職業意識の確立を目指した授業の実践ができたか。（職員間で連携しながら，技術や知識の習得や資格取得への取組，進路指導など，職業意識の確立を目指すことができたか。近隣の専門高校等との交流及び共同学習の充実を図ることができたか。）	3.44	B	3.42	B	3.43	B
	3	学力の向上や言語力の向上を目指した授業の実践ができたか。（「生徒が考える場面」を設定し，授業を展開することができたか。個別の指導計画や教材，情報機器を生かして，指導方法の工夫・改善を進めることができたか。基礎的・基本的な内容の定着を図るための指導方法の工夫・改善ができたか。卒業後の進路や環境を考え，言語力の向上を目指した授業の工夫ができたか。）	3.48	B	3.16	B	3.25	B
	4	生徒の心をとらえた生活指導の実践ができたか。（様々な活動で生徒に使命感・責任感をもたせる指導ができたか。基本的な生活習慣の確立を目指した指導ができたか。）	3.39	B	3.13	B	3.20	B
	5	家庭や各学部と密に連携を図ることができたか。（連絡帳や学級通信，学級ＰＴＡなどで情報を共有し，家庭や寄宿舎と連携・協力することができたか。情報を共有し，他学部や関係機関との連携の充実を図ることができたか。）	3.52	A	3.24	B	3.32	B
寮務部	1	寄宿舎生活を通して，日課に沿った生活やあいさつ，マナー等の基本的生活習慣が身に付くように働きかけることができたか。（幼児児童生徒の普段の生活のあいさつやマナーから判断する。）	3.17	B	3.23	B	3.21	B
	2	異年齢集団の中での自治活動等を通して，自主性や協調性・思いやりを育てる支援ができたか。（幼児児童生徒の普段の生活や自治活動等の様子から判断する。）	3.50	A	3.31	B	3.37	B
	3	日常生活や学習時間を通して，言葉の拡充や学習の習慣化を支援することができたか。（舎生の学習や課題への取り組みから判断する。）	3.17	B	3.13	B	3.14	B
	4	健康で楽しく安全な生活を送らせるための環境美化と整備に努めることができたか。（寄宿舎での生活の様子，施設設備面の対応から判断する。）	3.54	A	3.36	B	3.41	B
	5	各学部や保護者と連絡を密にとり合い，連携を図ることができたか。（忘れ物等の状況や連携のあり方で判断する。）	3.33	B	2.96	C	3.08	B